事業所名：グループホーム諏訪沢

作成日：　平成　28年　12月　1日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が利用者にとって不快な混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採りいれて、居心地よく過せるような工夫をしている。	①食堂・リビングの環境整備 まずは、普段一番多く過す場所での「あずましさ」を目指し、環境整備に取り組む。 ②食事に関する工夫（環境面でのアプローチ） 食事に関しての工夫の一つとして、食事に集中できるような環境をつくる。	①に関しては、人員補充もあったため、業務中心から、業務プラス質の向上というものを掲げていく。まず、職員会議で環境面での「居心地のよさ」を検討し実施する。 ②に関しては、これまで食事中にテレビを流していたが、今後は気持ちが安らぎ、食事に集中できるような音楽を流していく。	3か月
2	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは、泊りの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過せるような工夫をしている。	入居者様一人ひとりの担当職員が嗜好に合わせた居室づくりを展開する。	人員補充もあったため、担当制を再度見直し、改めて、担当職員としての責任も浸透させる。そして、嗜好や生活歴・ADL状況に合わせた居室づくりを進めていく。	3ヶ月
3					か月
4					か月
5					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。